

2026年5月13日

各位

会社名 Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名 代表取締役 三宅 洋
(コード番号：190A 東証グロース市場)
問合せ先 IR マネジャー 吉良 亜実
TEL : 03-6661-9543
MAIL : info@chorditherapeutics.com

2026年開催の欧州血液学会（EHA）における rogocekib 用量漸増コホートデータに関する演題採択および発表要旨の公開

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、2026年6月11日から14日にかけてスウェーデン・ストックホルムで開催される欧州血液学会（European Hematology Association：EHA）年次総会において、当社リードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib（CTX-712）に関する演題が採択され、発表要旨が公開されたことをお知らせします。

本演題では、現在、当社が米国で実施中の、再発または難治性の急性骨髄性白血病および骨髄異形成症候群の患者を対象とした第1/2相臨床試験における用量漸増コホートのデータとして安全性や薬物動態、初期的な有効性のデータの結果を発表する予定です。

EHA 年次総会は、血液学領域において世界的に高い評価を受ける国際学会であり、本演題の採択は、rogocekib の科学的妥当性および臨床開発の進捗が国際的な専門家コミュニティから評価されたものと考えております。本発表は、rogocekib の開発における重要なマイルストーンであると同時に、当社の研究開発力をグローバルに示す貴重な機会となります。

なお、発表の詳細につきましては、学会発表後に改めてお知らせする予定です。

当社は今後も、未だ十分な治療選択肢のない患者様に新たな治療を提供することを目指し、rogocekib をはじめとする当社パイプラインの研究開発を着実に推進してまいります。

CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) 発表概要

抄録番号	EHA-3974
演題名	SAFETY, TOLERABILITY, AND PRELIMINARY ACTIVITY OF ROGOCEKIB IN PATIENTS WITH RELAPSED/REFRACTORY MYELOID MALIGNANCIES: RESULTS FROM A PHASE 1/2 STUDY (CTX-712-CL-02)
発表形式	ポスター
予定日時	2026 年 6 月 13 日 18:45-19:45 (CEST)
発表要旨	SAFETY, TOLERABILITY, AND PRELIMINARY ACTIVITY OF ROGOCEKIB IN... - Garcia-Manero G - EHA-3974 - Jun 11 2026

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 ocipumaltib (CTX-177) に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chorditherapeutics.com/>) をご覧ください。